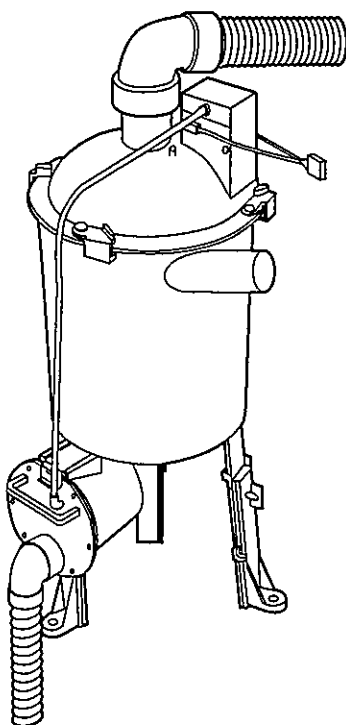


# 自動排水分離器

## 取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



### 目次

1. 注意事項	2
2. 概要	3
3. 各部名称	4
4. 保守点検	6
4-1. 金網の清掃方法	6
4-2. 本体内の清掃方法	7
5. 補圧タンクの交換方法および清掃	9
6. 「故障かな?」と思った時は	14
6-1. サクションの吸引が弱い時	14
6-2. サクションが吸引しない時	14
7. 日常の手入れの仕方	16
8. 消耗品	16
9. アフターサービス	16

この製品は抗菌材を使用しています。

このたびは、『自動排水分離器』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書の△注意をよくお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管し、わからない時は再読してください。

正しく使って効率アップ

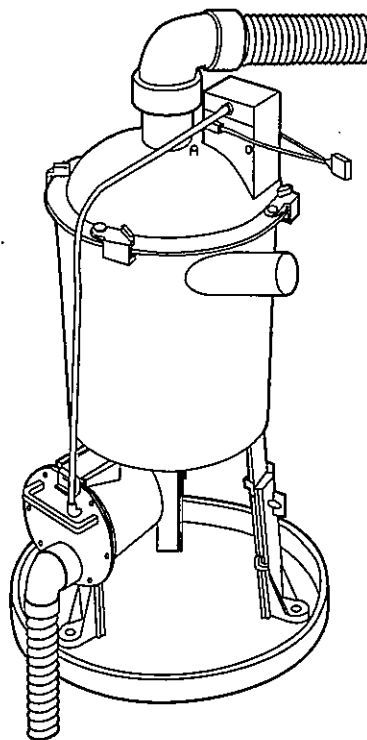
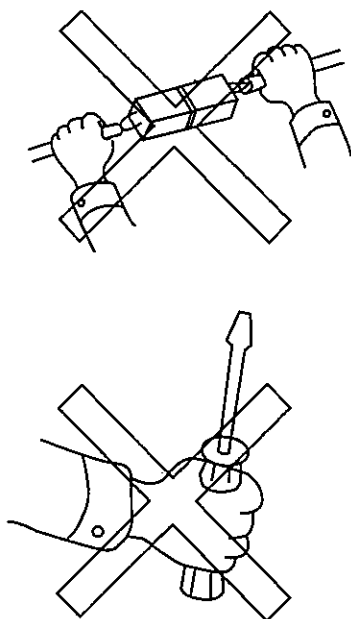
# 1.注意事項

## ⚠ 注意

- 自動排水分離器は、当社サクシヨンプロワ専用の分離器のため、他社製品との併用、および歯科用以外の使用は、絶対に避ける。
  - 配管の洗浄は、当社の「サクシヨンクリーナー」および「サクシヨンリンス」を使用する。  
泡の発生するクリーナーはプロワの故障の原因となるので、絶対に使用しない。
  - 分離器本体の清掃や、補圧タンクの交換時には、歯科医師および衛生士の感染防止のために、グローブを必ず着用する。
  - 有機溶剤、火気類は、絶対に吸引させない。
  - 点検・清掃の際には、必ず電源を切ってから行なう。
- AC単相100V……分離器用補助盤の電源プラグをコンセントから取り外す。(補助盤設置の場合)  
AC3相200V……モータブレーカのスイッチを切る。

☆下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ①当社または当社の指定した業者以外による据付・移設・改造・保守および修理
- ②当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷
- ③当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理
- ④この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合
- ⑤この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本装置の使用条件を逸脱した周囲条件による場合
- ⑥火災・天災(地震・水害・落雷等)の場合



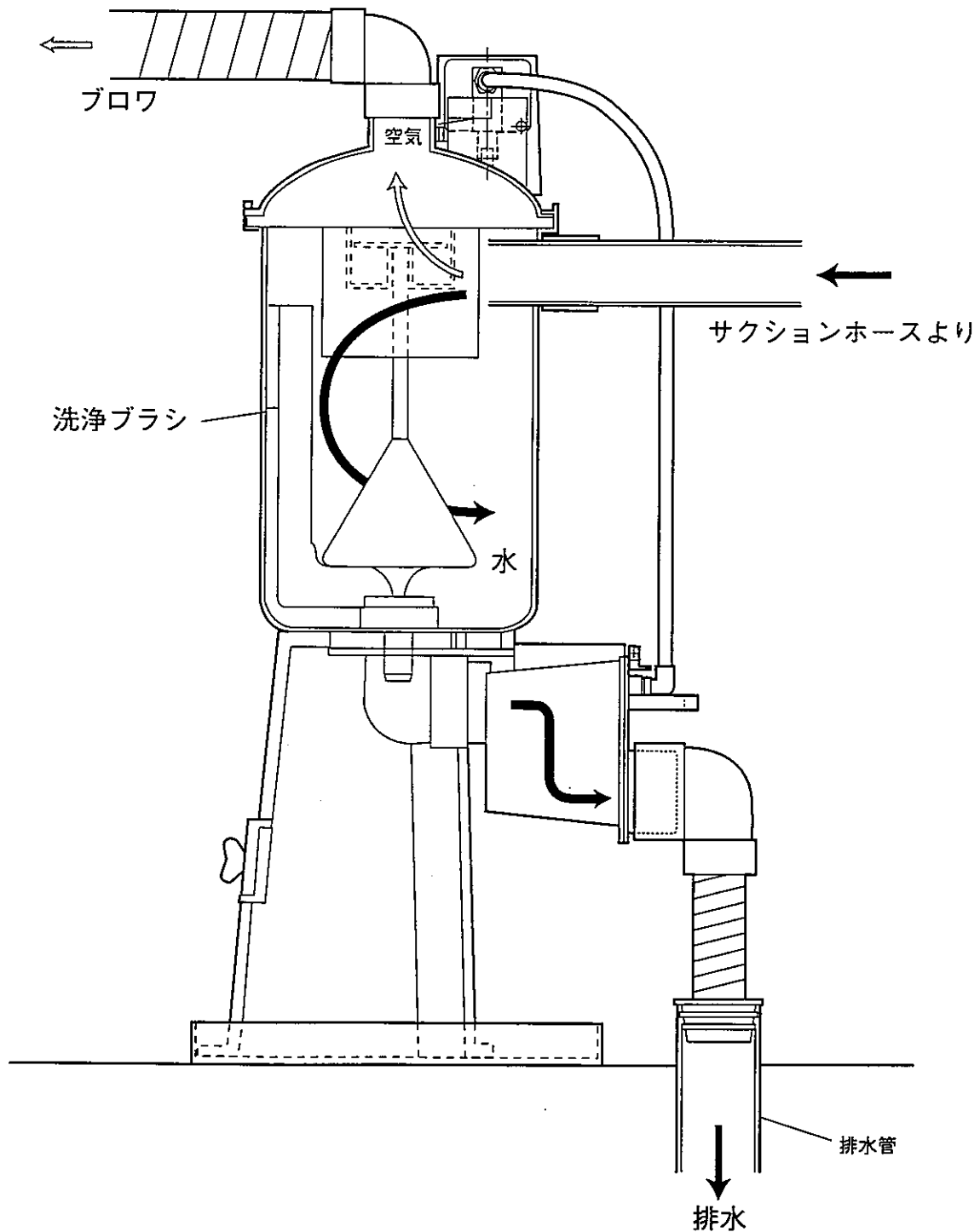
## ⚠ 注意

- ドライバーおよび工具等を使用しての「分解」は絶対にしない。

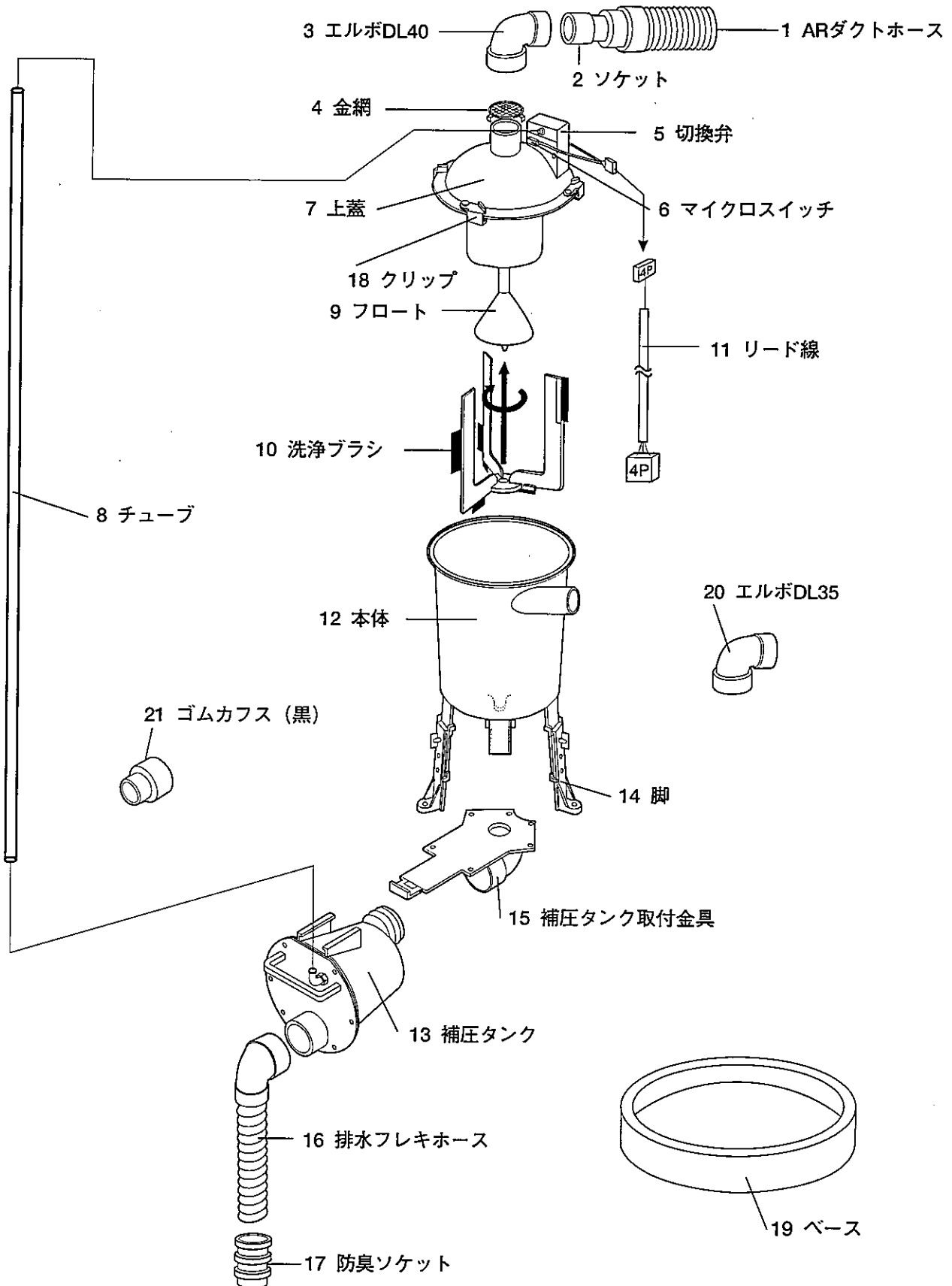
## 2.概要

本分離器は、分離器内に水を溜めず、補圧タンクによって常に排水している機構になっています。自動洗浄機能により、リターンボックス(別売品)が作動しますと、分離器内の洗浄ブラシが回転し、分離器内の洗浄が自動的に行なわれます。

### 分離器内の水と空気の流れ



# 3.各部名称



	名 称	備 考
1	ARダクトホース (黒色)	吸引用 内径φ38 1m
2	ソケット	
3	エルボ (灰色)	DL40
4	金網	
5	切換弁	
6	マイクロスイッチ	
7	上蓋	
8	チューブ	外径φ8×φ6 (予備1)
9	フロート	
10	洗浄ブラシ	消耗品
11	リード線	2m
12	本体	
13	補圧タンク	(予備1) 消耗品
14	脚 (ナイロン製蝶ボルト、ナベM6×12 ユリア化粧ナット、M6ワッシャ) 各3ヶ	
15	補圧タンク取付金具	
16	排水フレキホース (灰色)	排水用 内径φ32 (予備1) 消耗品 (VUDL 50×40付き)
17	防臭ソケット	
18	クリップ	
19	ベース	
20	エルボ (灰色) DL35	
21	ゴムカフス (黒色)	

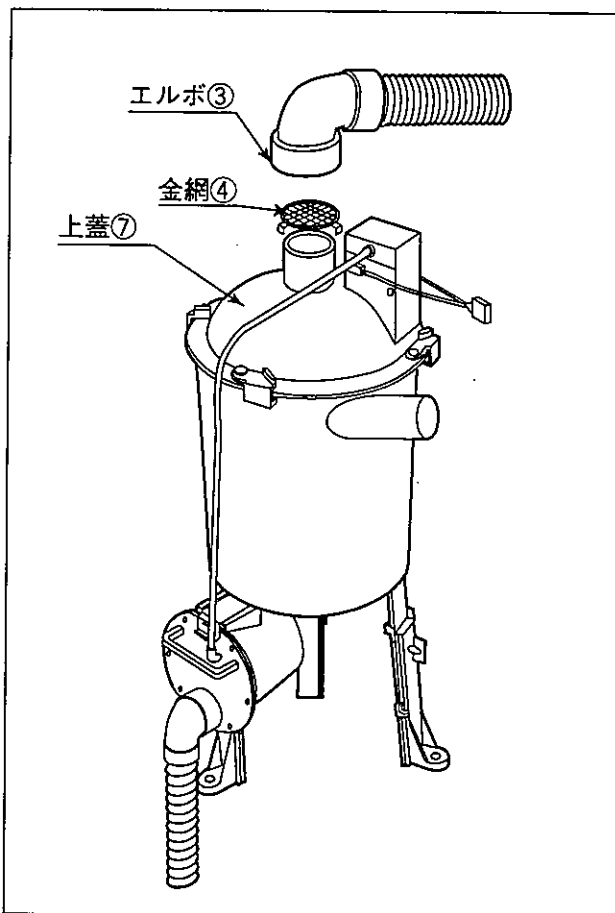
## 4.保守点検

### 〈点検・清掃の方法〉

ヘドロのつまり等により、機能を十分に発揮できなくなることがありますので、1ヶ月に1度の定期点検・清掃をおすすめいたします。

### ⚠ 注意

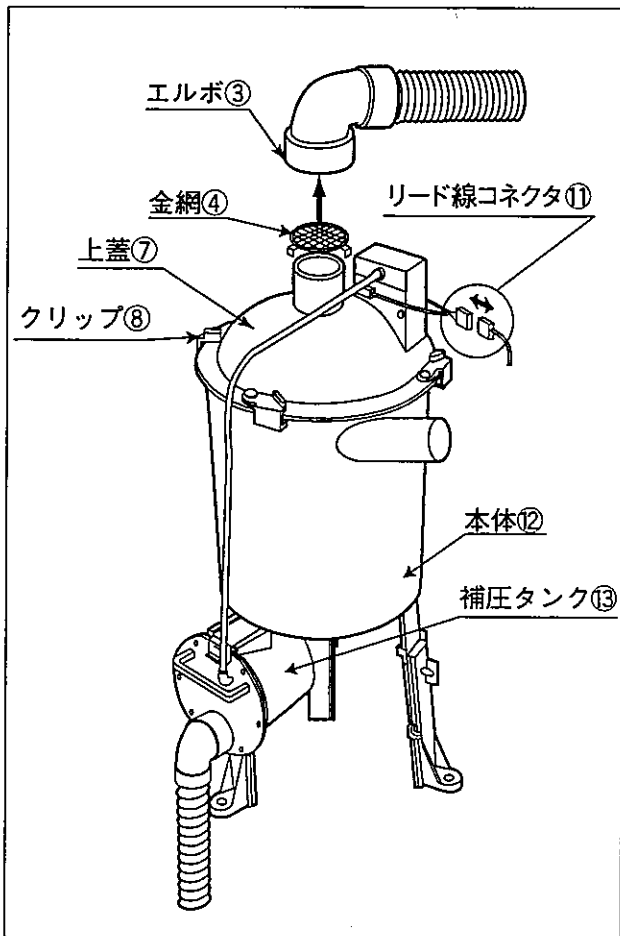
- 必ずブロワの電源(ブレーカ)を切る。
- 必ずブロワが止まったのを確認。
- 当社操作盤、またはブロワの電源ランプが消えているのを確認。
- 分離器および補圧タンク内の水が排水されたことを確認。
- グローブを必ず着用。



### 4-1. 金網の清掃方法

エルボ③を外して、金網④を清掃します。  
(金網④が目詰まりしますと、吸引が弱くなります。)

- 必ずモータが止まったのを確認。

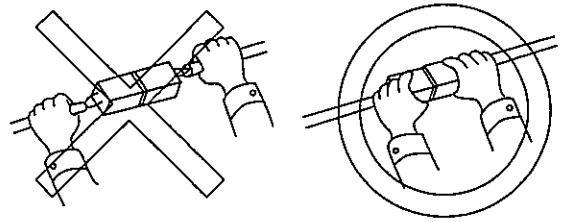


## 4-2. 本体内の清掃方法

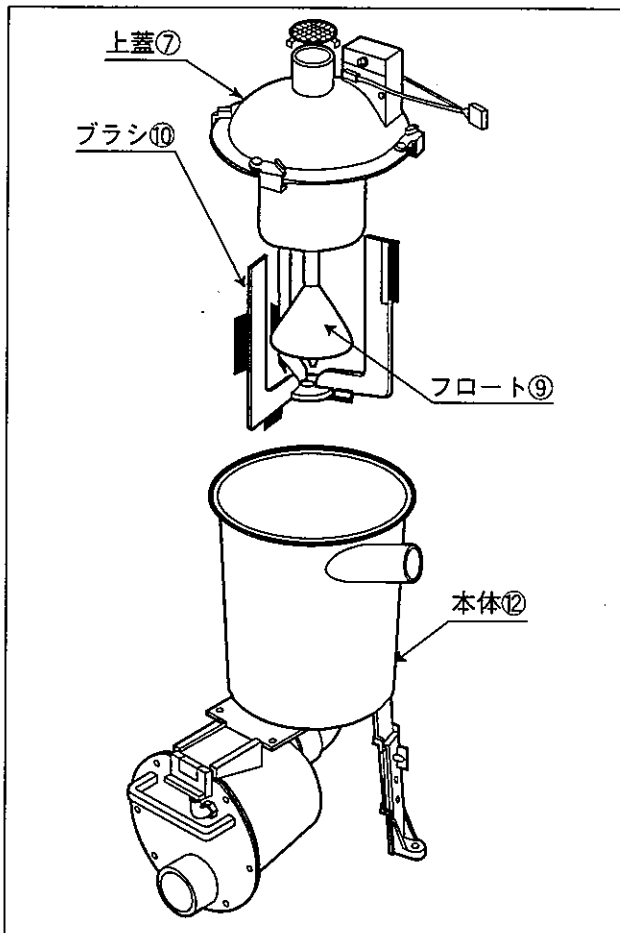
エルボ③、リード線コネクタ⑪、チューブ⑧を外します。

### ⚠ 注意

- リード線を外すときはコネクタを持つ。



クリップ⑧(4ヶ所)を外し、上蓋⑦を外します。



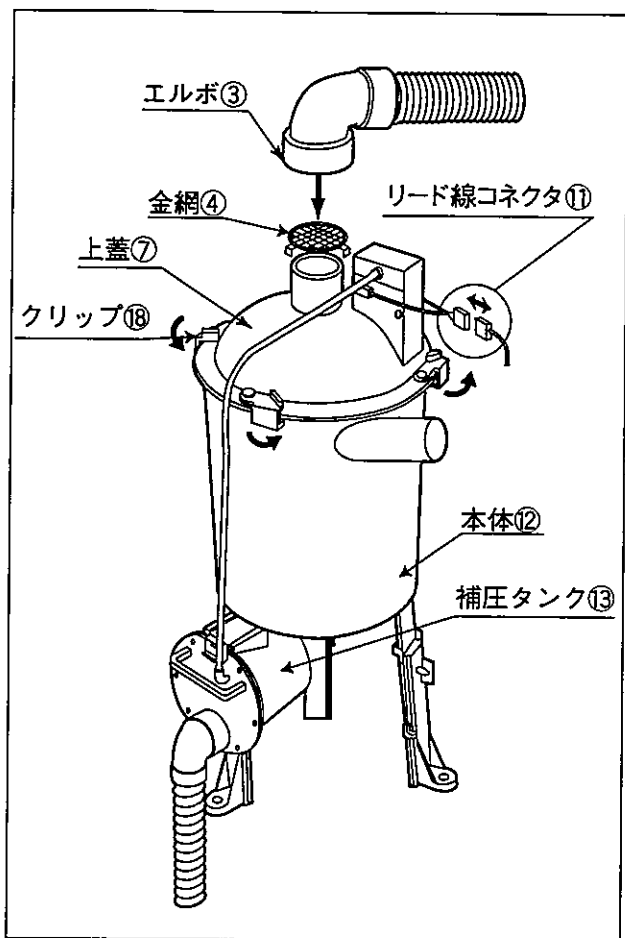
### ⚠ 注意

- 補圧タンク⑬を取り付けたまま清掃。
- フロートを曲げない。

本体内面を水または当社のサクションクリーナーで清掃します。

### ⚠ 注意

- 水漏れのないことを確認。



清掃後、逆の手順で上蓋⑦、リード線コネクタ⑪、チューブ⑧、金網④、エルボ③を取り付けます。

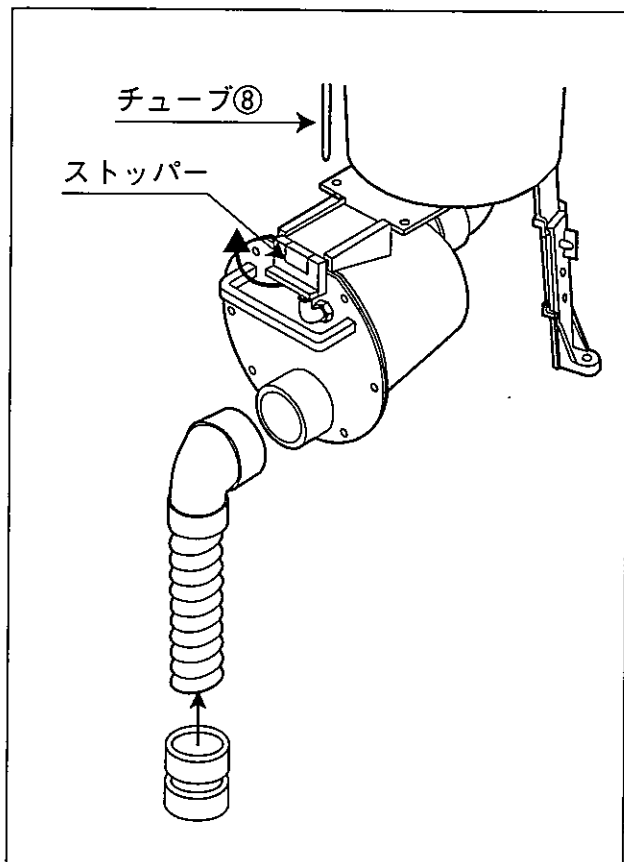
クリップ⑱をしめます。

### ⚠ 注意

- 清掃後は、コネクタ⑪、チューブ⑧、金網④を付け忘れない。
- ユニット側にてサクシヨンの吸引を確認。



## 5.補圧タンクの交換



ヘッドロのつまり等により、機能を十分に発揮できなくなることがあります。

### ⚠ 注意

- 補圧タンクにヘッドロがたまったら補圧タンクを交換する。
- 必ずブロワの電源（ブレーカ）を切る。
- 当社操作盤、またはブロワの電源ランプが消えているのを確認。
- 分離器および補圧タンク内の水が排水されたことを確認。
- グローブを必ず着用。
- バケツとぞうきんを用意（補圧タンクを外したあと、水が垂れる場合があります）。
- 補圧タンクは医療廃棄物として処分する。

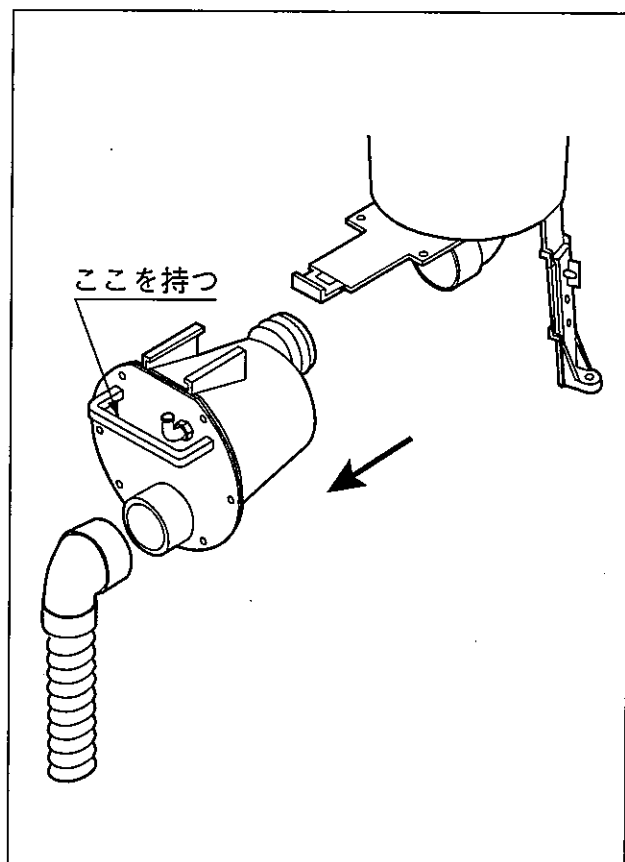
### 5-1. 補圧タンクの交換

チューブ⑧を外します。

ストッパーを上方向に移動します(ロック解除)。

排水フレキホース⑩を防臭ソケット⑪(排水管)から外します。

補圧タンク⑬を引き出します。

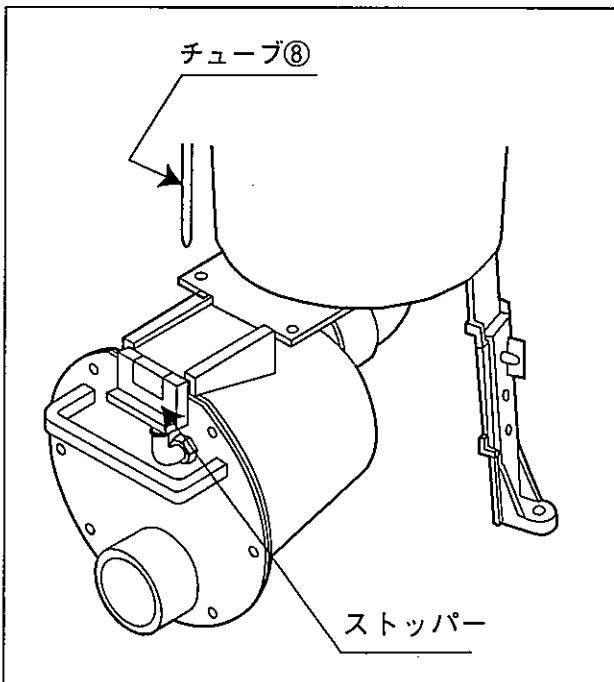
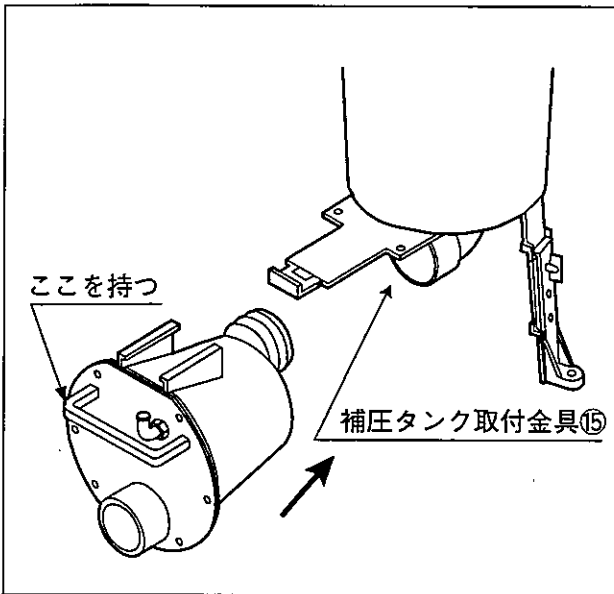


補圧タンク⑬に排水フレキホース⑯を接続します。

### ⚠ 注意

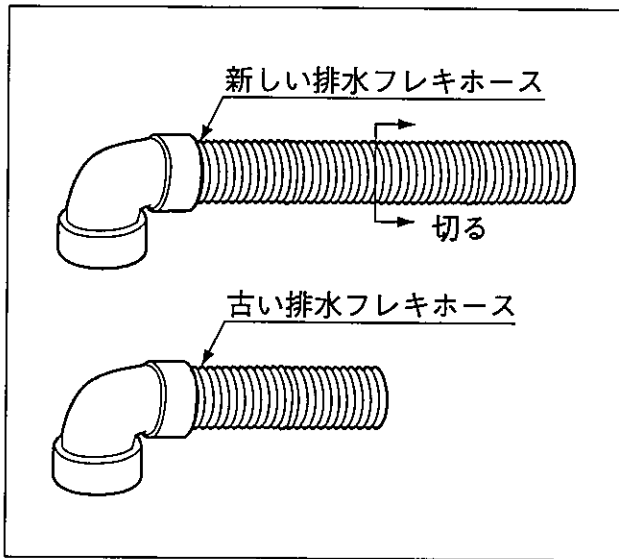
- 補圧タンク⑬と補圧タンク取付金具⑮接合部より水漏れのないこと。

補圧タンク⑬を取り付けます。

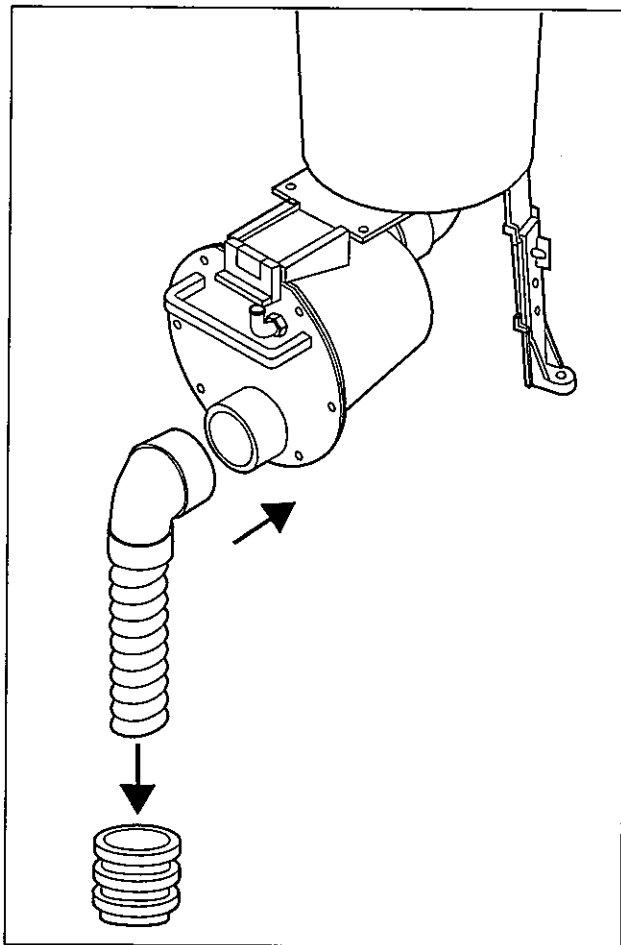


チューブ⑧を取り付けます。  
(引っぱっても抜けないこと)

ストッパーを下方方向に移動する。(ロックする)



新しい排水フレキホースを切ります。(古い排水フレキホースの長さを参考)

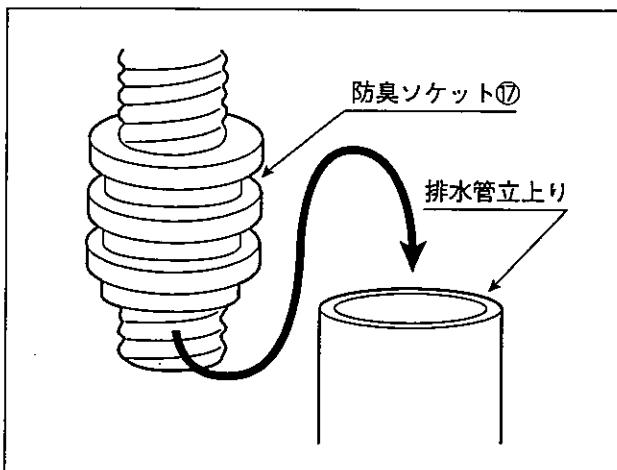


補圧タンク⑬に排水フレキホース⑩を接続します。

排水フレキホース⑩を防臭ソケット⑰(排水管)に差し込みます。

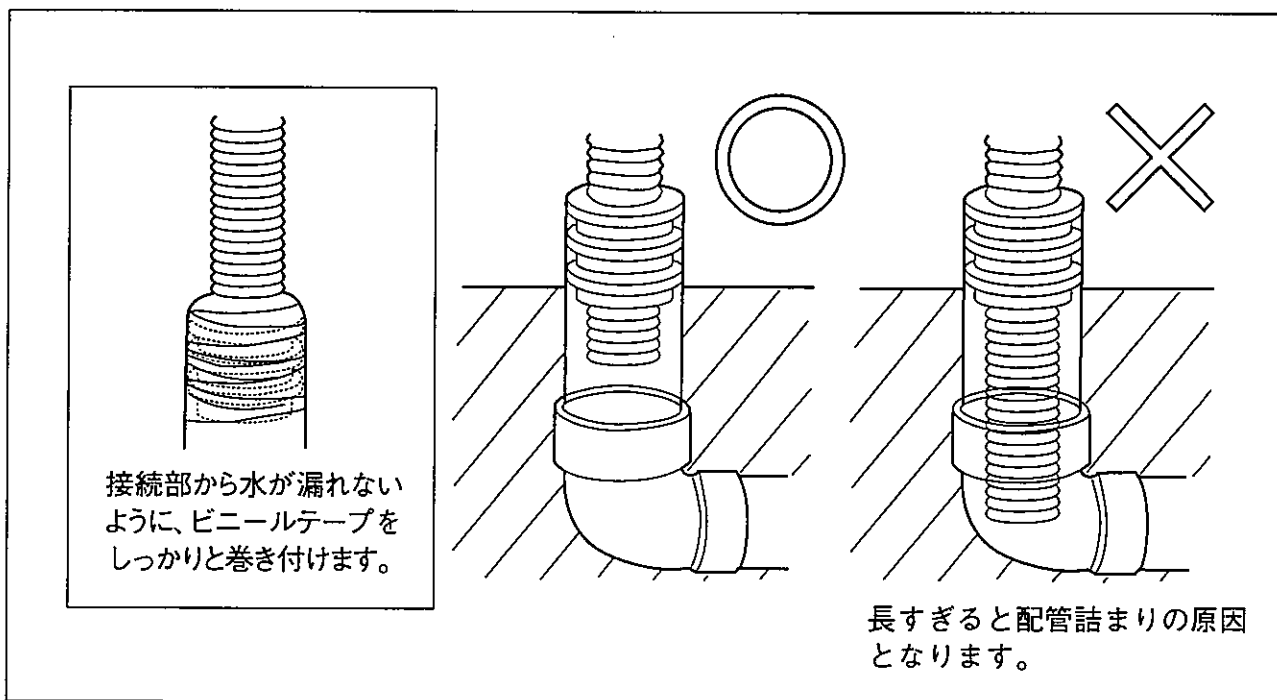
### ⚠ 注意

- 補圧タンク⑬とエルボ(黄)⑯接合部より水漏れのないこと。



排水管に防臭ソケット⑰を取り付けた排水フレキホース⑯を差し込みます。

排水フレキホース⑯は、防臭ソケット⑰と共に確実に差し込んでください。水漏れを防ぐため、下図の要領で差し込む長さを調整してください。



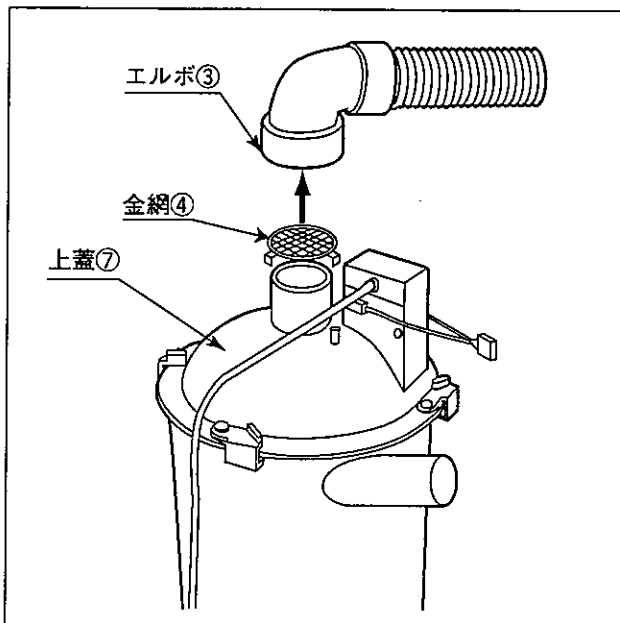
接続部から水が漏れないように、ビニールテープをしっかりと巻き付けます。

長すぎると配管詰まりの原因となります。

**⚠ 注意**

- 排水管内の排水フレキホース⑯が長すぎると、詰まり・水漏れの原因になります。

## 6. 「故障かな?」と思った時は

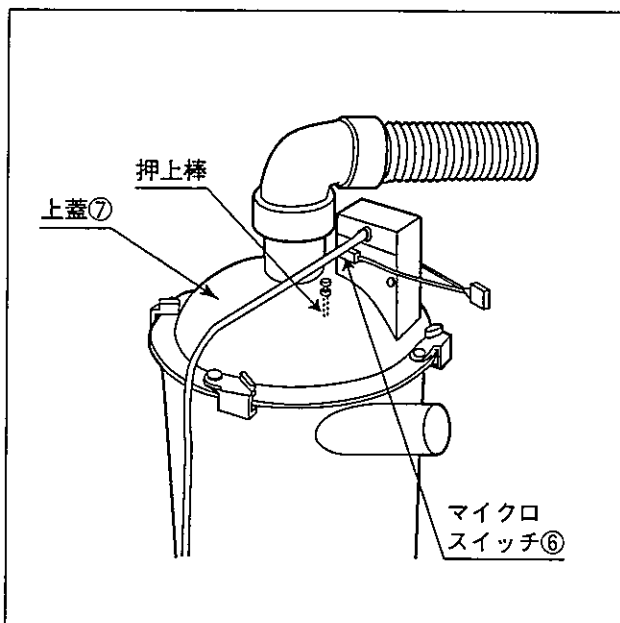


### 6-1. サクションの吸引が弱い時

- 金網④が目詰まりしていませんか?  
目詰まりしている場合は金網④を清掃。

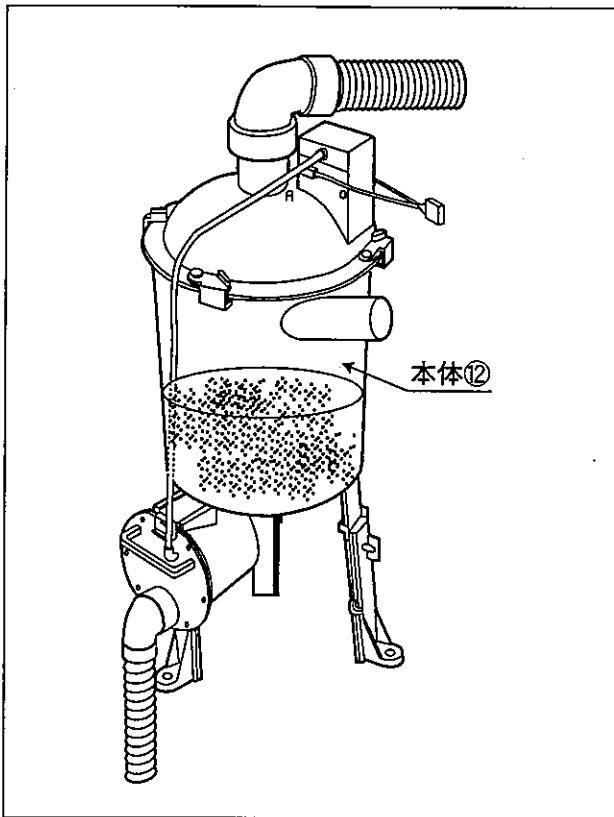
### ⚠ 注意

- 吸引漏れのないことを確認。



### 6-2. サクションが吸引しない時

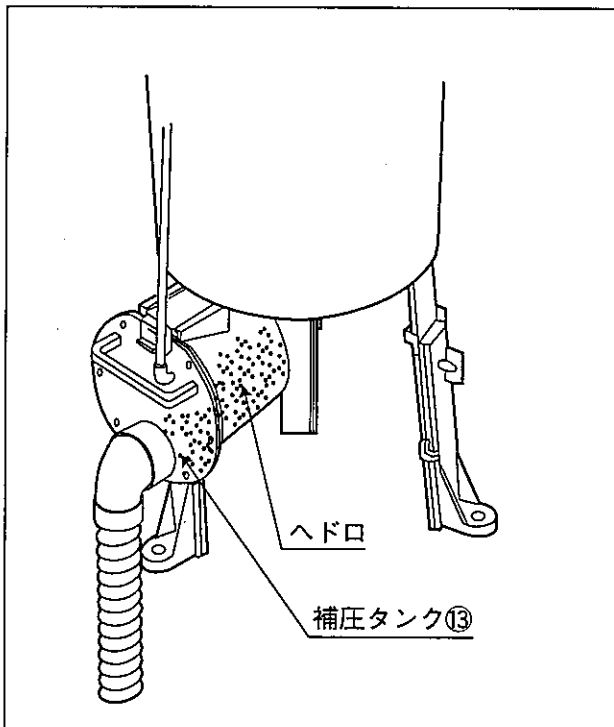
- オーバーフロー検知用マイクロスイッチ⑥の押上棒が、上がっていませんか?  
上がっている場合は指で下げ(下がっている状態が正常)、押上棒の付いている穴を清掃。



## 本体

- 分離器本体に水、ヘドロなどが溜まっていますか？

溜まっている場合は本体を清掃。



## 補圧タンク

- 補圧タンク⑬にヘッド口などが溜まっていますか？  
溜まっている場合は補圧タンク⑬を交換。

補圧タンク⑬の交換方法は、本取扱説明書 9 ページ「補圧タンクの交換方法」を参照。

ご不明な点がございましたら、当社までご連絡ください。

## 7.日常の手入れの仕方

診療終了後に、サクションクリーナーで配管内の清掃をしてください。

## 8.消耗品

補圧タンク

## 9.アフターサービス お問い合わせは購入先または当社まで

- 保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は1年間です。
- 保証期間中の修理(保証書の記載内容により無料修理)。
- 保証期間経過後の修理は、購入先または当社までご相談ください。

●お問い合わせは ——

歯科用セントラル・サクシヨン・システムの専門メーカー

**株式会社 東京技研**



E-mail: TG@tokyogiken.com Home Page: <http://www.tokyogiken.com>

本 社	〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13 TEL (03)3703-5581 (代) FAX (03)3705-1760
仙台営業所	〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-28-2 TEL (022)371-9651 (代) FAX (022)371-9653
名古屋営業所	〒465-0005 名古屋市名東区香流1-822 TEL (052)776-3355 (代) FAX (052)776-3356
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-1 TEL (06)6368-8877 (代) FAX (06)6368-8876
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊1-8-21 TEL (092)411-0377 (代) FAX (092)411-0376